

“高齢者の笑顔の花咲く徳島”を目指して

～第43回徳島県敬老県民のつどい～

去る8月28日（火）、徳島市のあわぎんホール（旧郷土文化会館）において、第43回目となる「敬老県民のつどい」が開催され、県下各地から約800名が集まりました。

今年のテーマは「“高齢者の笑顔の花咲く徳島”を目指して」。はじめに大会長である 飯泉 嘉門 徳島県知事から、長寿先進県である本県において、健康寿命（心身ともに健康で生活できる）をできるだけ延ばし、自分らしく生きがいを持って充実した日々を送ることができるようにすることが大切であると挨拶、続いて、大会副会長である 片山 寿雄 県老連会長からは、当日高齢者福祉の増進や老人クラブの育成指導に功績のあった方々に贈られる各種表彰の被表彰者に対する感謝のことばが述べられました。



表彰では、まず高齢者福祉功労者等に対する徳島県知事表彰が行われ、県老人クラブ連合会が推薦した21名（下記参照）を含む56名3団体に表彰状が贈られました。

表彰では、まず高齢者福祉功労者等に対する徳島県知事表彰が行われ、県老人クラブ連合会が推薦した21名（下記参照）を含む56名3団体に表彰状が贈られました。

＜高齢者福祉功労者表彰（老人クラブ関係）

内藤 正晴，宮本みつる（徳島市），後藤 一敏，林 武久（鳴門市）
森 八恵，八束ヨシ子（小松島市），神野 弘子，松家 利則（阿南市）
住友 正子，中野 誠明（吉野川市），坂東 直道（阿波市），
猪元 貞子（美馬市），森脇 正剛（美馬市），伊丹 一夫（三好市）
田岡 茂（三好市），明本 恭子（勝浦町），遠藤 洋雅（石井町）
伊藤 辰雄（藍住町），小山 保（美波町），河内貞次郎（つるぎ町）
福下 牧雄（東みよし町）

今年88歳を迎えられた方々（該当者4,025名）に対する米寿記念品の贈呈

に続き、永年にわたり老人クラブの育成に功績のあった方々に対する県老連会長表彰が行われ、団体では美波町の戒町福寿会他21団体、個人では徳島市の吉田マツエさん他60名に賞状と記念品が贈られました。

また、あわせて本年度の全老連「活動賞」を受賞した東みよし町の昼間長生会（仲間づくり活動部門）他、7団体への賞状の伝達も行われました。



休憩をはさみ、後半は「がんばる高齢者」顕彰者の活動発表でスタート、「がんばる高齢者」は、徳島県が地域で活躍する高齢者を顕彰しようと、昨年度から取り組



んでいる事業で、このたび、その第1号として認定された徳島市の木村 義次さんが、健康づくりのために取り組んでいる「筋力トレーニング」をグループの仲間30名と一緒に披露、93歳とは思えない木村さんのはつらつとした掛け声と、ステージを動き回る姿に、会場から大きな拍手が贈られました。

そのあと、県老連社会文化事業部長である 枘富 輝雄 理事の挨拶で、恒例の芸能大会に移りました。海陽町老人クラブによる「海陽町おどり」で始まった芸能大会は、お馴染みの民踊の他、南国の雰囲気醸し出す衣装に身を包んだ優雅なフラダンスや若々しい軽やかなステップを見せたスクエアダンス、高齢者とは思えない声量で自慢ののどを披露したカラオケなど、25組が日頃の練習の成果を披露しました。後半、板野町の西楽笑会による「金色夜叉」では、大正琴の生演奏をバックに、歌詞のストーリーに沿った芝居仕立ての振り付けを披露、会場を大いに沸かせていました。

また、本年度老人クラブ会員との交流を深めてもらおうと、徳島県シルバー大学校OB会からも2組が出演、トリを務めた徳島校OB会のダンス・民踊クラブでは、40名による舞台いっぱいの踊りを披露しました。

